

2018-2019  
RI テーマ



インスピレーションになるろ

創立/1954年(昭和29年)6月30日  
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内  
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

# TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

例会日/毎週火曜日  
会長/田中大成

例会場/武生商工会館  
幹事/三田村久光  
会報委員長/塩田憲康

## 第3104回 例会記録 平成30年10月23日(火)

本日出席会員37名

メイクアップ(前々回) 5名

出席率(前々回補正) 84.91%

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ビジター 敦賀RC 山本等ガバナー補佐

会員総数  
**54名**

### 会長挨拶 第65代会長 田中大成



今日のビジターの紹介をさせていただきます。ガバナー補佐の山本様です。山本様は敦賀RC所属ですが、今、敦賀RCはIMの準備でお忙しい中を、武生までメークアップに来て頂きました。

昨今、働き方改革ということが言われています。昨年、電通の新入社員だった高橋まつりさん(当時24才)が過労自殺し、労災認定されました。このことに端を発した電通の違法残業事件。たびたび問題視されたのが過酷な働き方。このことにより、政府が取り組みを始めました。ただし、真面目で責任感のある社員たちが、働き方改革で悲鳴を上げています。残業時間の短縮、裁量労働制の拡大、在宅勤務、IT化や育児休業制度の拡大、介護休暇の付与。どれももともとです。

ただ、今の日本の多くの中小企業では、それを実施できる環境が整わないまま制度体制ばかりが独り歩きしているような気がしています。実際問題として、たとえば、残業時間の短縮をすれば、人手の数が今までと同じなら当然やり残しの仕事ができます。するとそれを誰かがやらなくてはいけなくなります。営業や研究など、労働時間のみでくれない仕事もあります。いくら理想ばかりを掲げても、実情を無視していればそれは却って働く人に苦痛を押し付けることになります。企業としては、いかに社員一人一人が意欲を持って働き続けられるかを考えなくてはいけないと思います。働く人の意欲や幸せが企業の業績を押し上げ、それが家庭に、社会にと広がっていくものだから。国の掲げる働き方改革には疑問や問題点も多いと思います。だからといって文句ばかり言っても仕方ありません。限られた中で、いかに社員の幸せにつながる働き方を、工夫して、よりよく改革していくかが、我々中小企業の課題だと思います。

【3班】日時：9月18日(火)18:30~ 場所：大江戸別館

責任者：渡辺佳男 発表者：河嶋 一

参加者：佐々木忠彦、宮本 俊、西野昌美、塩田憲康、梅田雅彰、前田栄二

パスト会長2人と入会年数の短い会員が多いメンバーで構成され、本年度社会奉仕委員長の宮本会員もいらっしやる内容の濃い議論が交わされました。

RCは職業奉仕が一番とされてきたが、昨今のRCはその部分が薄れてきており、社会奉仕は5大奉仕の中でも重要な位置にあるのではないかと河川清掃や、植樹が定番であるが、一般社会にRCの認知度が低いので、もっとアピールが必要ではないかと？アピールする事により、会員増強も望めるのではないかと？武生クラブとしては、60名の会員規模にするべきとの意見がありました。また、RCのイメージとして、お金で済ますイメージがある。企業家育成・支援はどうか？との意見もありました。結論として、地域のために自分やクラブが何出来るか考える時期が来ているのではないかと思います。

ニコニコ箱 …… 31,000円 累計 643,000円

・本日はお世話になります。【敦賀RC 山本等ガバナー補佐】  
・ちょっと 【田中大成】  
・第31回源氏物語アカデミー、石川浩会長の花舞台 【渡辺佳男】

・昨日友達とゴルフをして大変良いことが起きました。 【小林幸一】

・日曜日に新聞にでました。 【河合敏一】

・山本ガバナー補佐、いつもご指導いただきありがとうございます。 【田中 茂】

・第2班炉辺会合発表、大変にまとめにくいとは思いますが、宮前会員発表よろしくお願ひします。 【三村昌之】

・本日炉辺発表させていただきます。 【河嶋 一】

・炉辺発表させていただきます。 昨日、楽しいゴルフをさせていただきました。 【宮前貴司】

・ちょっと良いことがあります。炉辺発表します。 よろしくお願ひします。 【宇野賢治】

・炉辺発表よろしくお願ひします。 【三田村久光】

・昨日のゴルフ楽しかったです。小林さん、宮前さん、宇野さん、井上さん、河嶋さん、佐々木さんありがとうございました。 【小林慶治】

・本日所用で途中退席すみません。 【奥村 充】

・いつもたくさんのニコニコありがとうございます。 本日都合で早退いたします。 【今村清孝】

### 例会変更情報/福井県内ビジター受付(10月31日~11月12日)

10月31日 福井北RC 12:00~12:30 サ・グランエアーズフクイ正面玄関

11月 1日 敦賀西RC 12:00~12:30 プラザ萬象2階ロータリー事務局

11月 9日 福井西RC 12:00~12:30 バードグリーンホテル

11月 9日 三国RC 12:00~12:30 三国観光ホテルフロント

\*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーの友ホームページにてご確認ください。

にうつりました。食事をしながらもいろいろとお話をすることが出来、お開きまで楽しく会話がはずみました。炉辺会合では、例会の時間だけではお話しできないことも話すことが出来るので、炉辺会合をもっと増やしていただけると良いのではないのでしょうか、と思いました。以上で、1班の報告を終わります。

【2班】日時：10月2日(火)18:00~ 場所：萬谷

責任者：石川満夫 発表者：宮前貴司

参加者：鎌谷忠雄、竹内紀昭、奥村 忠、田中 茂、三村昌之、三田村久光、上野 巖、奥村 充

#### ① 社会奉仕の考え方

- ・社会奉仕とは活動そのものだけでなく、活動を通じ個人が「奉仕の理念」を生活の中で適用する学びを得ることである。それを端的に表したが「入って学び、出でて奉仕せよ。」である。
- ・会員一人一人が困った人、弱い人に差し出す愛の手すなわち、「慈愛の心」を持つことが重要で「超我的奉仕」(Service Above Self) という。
- ・これによりRCは「I serve」と呼ばれる。
- ・RCが「I serve」ライオンズが「We serve」と比較され、最近ロータリーがWe serve化したといわれるが、We serve化したのではなく、I serveが幾つも積み重なってその数が多くなっただけである
- ・学びと経験値を上げるために、実践することが重要で、クラブはその場を提供する必要がある。
- ・会員歴の浅い会員にとってはこれらのことが伝わっていないことも多く、卓話・炉辺会合・資料などで理解を深めることも必要である。

#### ② 活動についての問題提起と活動の留意点

- ・職業奉仕と社会奉仕の境目が無くなってきている。RIにおいては職業奉仕がポリシーとして捉えられ、職業奉仕活動自体は社会・国際・青少年奉仕に含まれるようになってきている。
- ・単なるボランティア化ではなく、そこには個人の心につながる目的意識が必要。その実践の場の提供として、会員全員の参加・関与の活動が重要で、合わせて全員参加による団結する力を高めるものであるべきである。
- ・古いクラブが陥りがちな、マンネリ化になってはいけない。
- ・複雑且つ、多様なニーズに応えられる様、アンテナを張ることが必要。そのためには行政やその他ネットワークとの連携も必要。かつてはRC単独の活動ありきと言われたが現在は他団体とのコラボも可能になっている。
- ・地域から「武生RCの活動が見えない」との声も聞く。売名ではなく、社会に必要と知っていただく広報も重要である。

<p><b>本日(10月30日)の例会</b> ゲスト卓話 越前市かさとしふるさと絵本館「碓」 館長 谷出千代子氏</p>	<p>11月6日 第一例会行事 ロータリー財団 西藤委員長</p>	<p>11月13日 ゲスト卓話 福井県警察本部 警部 堀川秀孝氏</p>	<p>11月20日 休 会</p>
---	---	--	-----------------------

#### プログラム

炉辺会合発表「ロータリーの社会奉仕とは」

【1班】日時：10月16日(火)18:00 ~ 場所：うおとめ

責任者：谷尾榮一 発表者：宇野賢治

参加者：白崎弘康、田中大成、井上常宏、三田村士郎、西本久美子、木下仁史

まず、責任者の谷尾会員から「これからの武生RC(地域社会とのかかわりを中心に)」という資料をいただきお話しいただきました。RCについて論議する時は、職業を通して社会に奉仕するという共通の理念と実践がクラブ会員の中に定着していることが基本的条件になります。武生RCがロータリーとしての本質を見失うことなく会員が活き活きと前向きな奉仕活動が続けるためにはどうしたら良いか考えてみていただきたいとお話しいただき、またRI23-34決議(1条から6条)についても説明をいただきました。6条の「クラブとしての奉仕活動は、誰も手をつけていない新しい奉仕活動をクラブが開拓しながら先鞭をつけ、RCが奉仕活動に従事する専門団体を育成して、なるべく早い段階でその活動を委譲しなければならないと社会奉仕について説明いただきました。 “ロータリーの社会奉仕とは”について、みんなから意見をいただきました。

- ・困った人に奉仕できるようにしていく
- ・武生RCのメンバーからは、私の職業の仕事について私のところをお願いしたいと言ってもらえるよう努力する
- ・RI23-34決議6条をはじめ知った、6条にみあう奉仕活動を考えていきたい
- ・武生RCが行ってきた社会奉仕活動について、その活動を委譲できているのだろうか ロータリーが先鞭をつけた社会奉仕活動をそのあと面倒を見てくれる団体をうまく探せるのだろうか
- ・社会奉仕は外向きの事業、地域向けの事業だと思う。職業奉仕と社会奉仕どちらを進めていけばよいのかという葛藤がある
- ・職業奉仕より社会奉仕の方がむずかしい
- ・RCが行っている社会奉仕活動は一般の人に受け入れてもらえているのだろうか、きちんと知ってもらえているのだろうか、自分達だけで満足しているのではないだろうか、自己満足にしかならないのではないだろうか、たくさんの意見が出たところで一旦会議を終え、食事